RV130およびRV130WでのLANおよびリモート 管理Webアクセスの設定

LANおよびリモート管理の設定方法を示すビデオについては、<u>https://youtu.be/9R0Rd5bS1W8</u> を参照してください。

目的

ルータのLANまたはWANインターフェイスに接続されているクライアントは、ルータの Webコンフィギュレーションユーティリティにアクセスできます。LAN/VPN Webアクセス の設定により、ローカルエリアネットワーク(LAN)上のクライアントがセキュアソケットレ イヤ(SSL)経由でルータに安全に接続できるようになります。リモート管理Webアクセスの 設定により、企業ネットワーク外のクライアントがIPアドレス経由でルータに接続できるよ うになります。リモート管理Webアクセスは、管理者がリモートロケーションからルータに アクセスしたり、ルータを設定したりする場合に役立ちます。

このドキュメントの目的は、RV130およびRV130WルータでLANおよびリモート管理Webア クセスを設定する方法を示すことです。

該当するデバイス

- RV130
- RV130W

[Software Version]

• v1.0.1.3

LAN/VPNおよびリモート管理Webアクセスの設定

ステップ1:Web設定ユーティリティにログインし、[Firewall] > [Basic Settings] を選択しま す。[Basic Settings] ページが開きます。

Basic Settings	
IP Address Spoofing Protection:	🗹 Enable
DoS Protection:	Enable
Block WAN Ping Request:	Enable
LAN/VPN Web Access:	ITTP HTTPS
Remote Management:	Enable
Remote Access:	○ HTTP
Remote Upgrade:	Enable
Allowed Remote IP Address:	Any IP Address Add
	0.0.0.0-0
Remote Management Port	443 (Range: 1 - 65535, Default: 443)
IPv4 Multicast Passthrough:(IGMP Proxy)	Enable
IPv4 Multicast Immediate Leave:(IGMP Proxy Immediate Leave)	Enable
SIP ALG	Enable
UPnP	Enable
Allow Users to Configure	Enable
Allow Users to Disable Internet Access	Enable
Block Java:	🔲 🖲 Auto 🔿 Manual Port:
Block Cookies:	🔲 🖲 Auto 🔿 Manual Port:
Block ActiveX:	🔲 🖲 Auto 🔘 Manual Port:
Block Proxy:	🔲 🖲 Auto 🔿 Manual Port:
Save Cancel	

ステップ2:[LAN/VPN Web Access] フィールドで、目的のWebアクセスプロトコルのタイプ に対応するチェックボックスをオンにします。プロトコルは、LANインターフェイスのメン バからデバイスに接続するために使用されます。

LAN/VPN Web Access:	
Remote Management:	Enable
Remote Access:	○ HTTP [®] HTTPS
Remote Upgrade:	Enable
Allowed Remote IP Address:	Any IP Address
	0.0.0.0-0
Remote Management Port	443 (Range: 1 - 65535, Default: 443)

使用可能なオプションは次のように定義されています。

・ HTTP – クライアントは、標準のハイパーテキスト転送プロトコル(HTTP)を使用して内 部Webサイトに接続できます。WebサイトのHTML要素は、直接クライアントデバイスに 送信されます。HTTP経由のWebサイトへの接続は、HTTPSよりも高速です。

・ HTTPS — HyperText Transfer Protocol Secure (HTTPS)を使用して、クライアントが内 部Webサイトに接続できるのは、Webサイトにインストールされているデジタル証明書が 、関連付けられたWebサーバーによって認証されている場合のみです。これにより、クラ イアントとWebサイト間の中間者攻撃を防止できます。このオプションをオンにすると、 クライアントとWebサイト間の双方向暗号化も提供されます。

注:ドメインのWebページに必要なSSL証明書がインストールされていない場合は、 [HTTP] チェックボックスだけをオンにします。ドメイン上のすべてのWebページにSSL証 明書がインストールされている場合は、[HTTPS] チェックボックスだけをオンにします。 クライアントがルータにアクセスする方法を幅広く設定する場合は、HTTPとHTTPSの両方 のチェックボックスをオンにできます。

ステップ3:[Remote Management] フィールドで、[Enable] チェックボックスをオンにして 、管理者がデバイスWeb設定ユーティリティにリモートアクセスできるようにします。デフ ォルトでは、リモート管理は無効になっています。オフの場合は、ステップ8に進みます。

注:リモート管理を有効にすると、ルータのIPアドレスを知っているすべてのユーザがルー タにアクセスできます。この機能を有効にする前に、デバイスのデフォルトパスワードを変 更することが重要です。

ステップ4:[Remote Access] フィールドで、リモートアクセスプロトコルのタイプに対応す るオプションボタンを選択します。このプロトコルは、リモートワイドエリアネットワーク (WAN)から直接ルータにデバイスを接続するために使用されます。HTTPSはHTTPよりも安

LAN/VPN Web Access:	ITTP - HTTPS
Remote Management:	Enable
Remote Access:	O HTTP O HTTPS
Remote Upgrade:	Inable
Allowed Remote IP Address:	Any IP Address
	◎ 0 . 0 . 0 . 0 - 0
Remote Management Port	443 (Range: 1 - 65535, Default: 443)

使用可能なオプションは次のように定義されています。

・ HTTP – クライアントは、標準のハイパーテキスト転送プロトコル(HTTP)を使用して内 部Webサイトに接続できます。WebサイトのHTML要素は、直接クライアントデバイスに 送信されます。HTTP経由のWebサイトへの接続は、HTTPSよりも高速です。

・ HTTPS — HyperText Transfer Protocol Secure (HTTPS)を使用して、クライアントが内 部Webサイトに接続できるのは、Webサイトにインストールされているデジタル証明書が 、関連付けられたWebサーバーによって認証されている場合のみです。これにより、クラ イアントとWebサイト間の中間者攻撃を防止できます。このオプションをオンにすると、 クライアントとWebサイト間の双方向暗号化も提供されます。

ステップ5:[Remote Upgrade] フィールドで、[Enable] チェックボックスをオンにして、管理者がリモートWANからデバイスをアップグレードできるようにします。

LAN/VPN Web Access:	ITTP HTTPS
Remote Management:	Enable
Remote Access:	© HTTP
Remote Upgrade:	🗹 Enable
Allowed Remote IP Address:	Any IP Address
	◎ 0 . 0 . 0 . 0 - 0
Remote Management Port	443 (Range: 1 - 65535, Default: 443)

ステップ6:[Allowed Remote IP Address] フィールドで、デバイスにリモートアクセスできるIPアドレスを選択します。[Any IP Address] オプションボタンをクリックして任意のリモートデバイスを接続できるようにするか、その下のオプションボタンをクリックして、許可されるIPアドレスの範囲を手動で入力します。

LAN/VPN Web Access:	ITTP HTTPS
Remote Management:	Enable
Remote Access:	© HTTP [●] HTTPS
Remote Upgrade:	Enable
Allowed Remote IP Address:	Any IP Address
	◎ 0 . 0 . 0 . 0 - 0
Remote Management Port	443 (Range: 1 - 65535, Default: 443)

ステップ7:リモートアクセスを許可するポートを入力します。デフォルト ポートは 443 で す。

LAN/VPN Web Access:	ITTP HTTPS
Remote Management:	Enable
Remote Access:	© HTTP
Remote Upgrade:	Enable
Allowed Remote IP Address:	O Any IP Address
	192 . 168 . 1 . 75 - 100
Remote Management Port	443 (Range: 1 - 65535, Default: 443)

注:ルータにリモートアクセスする場合は、IPアドレスの一部としてリモート管理ポートを 入力する必要があります。以下に、いくつかの例を示します。https://<remote-ip>:<remoteport>、またはhttps://168.10.1.11:443。

ステップ8:[Save] をクリックして設定を保存します。

LAN/VPN Web Access:	☑ HTTP □ HTTPS
Remote Management:	V Enable
Remote Access:	◎ HTTP
Remote Upgrade:	C Enable
Allowed Remote IP Address:	O Any IP Address
	9 192 . 169 . 1 . 75 - 100
Remote Management Port	443 (Range: 1 - 65535, Default 443)
IPv4 Multicast Passthrough:(IGMP Proxy)	V Enable
IPv4 Multicast Immediate Leave:(IGMP Proxy Immediate Leave)	Enable
SIP ALG	Enable
UPnP	☑ Enable
Allow Users to Configure	V Enable
Allow Users to Disable Internet Access	Enable
Block Java:	O Auto Manual Port
Block Cookies:	🔲 🐵 Auto 🖱 Manual Port
Block ActiveX:	🖹 🖲 Auto 🖱 Manual Port
Block Proxy:	🗐 🐵 Auto 🔿 Manual Port
Save Cancel	

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人に よる翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっ ても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性につ いて法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照する ことを推奨します。